

水辺

高松

第23号

発行2011年1月

謹賀新年



高松市上下水道工事業協同組合

〒760-0018 香川県高松市天神前5番30号
TEL 087-831-5633(代) FAX 087-861-9921

PRINTED WITH
SOYINK
再生紙を使用

明けましておめでとうございます

高松市上下水道工事業協同組合 理事長 中川 悟

組合員の皆様におかれましては、日頃から上下水道という重要な

ライフライン機能を継承し、快適な市民生活を支えるため、ひとかたならぬご尽力を賜つております。心からお礼申し上げますとともに、新春をお健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。

日本経済は、一昨年のリーマンショック以来激動の中、中小企業は非常に厳しい経営を強いられて参りました。最近のマスコミでは、一部回復との情報があるものの、地方の中小企業には全くその気配は見受けられません。

この様な背景にあり乍らも、いついかなる時においても安全で良質な水を安定的に供給することは、我々上下水道事業業者に課せられた使命であり、同時にこれまで以上に管路や浄水場など水道施設の耐震化や関係団体、他都市等との応援体制を構築し、災害対策を重要施策の一つと位置づけて取組んで参らねばなりません。

そしてお客様の理解と信頼の上に成り立つ公益事業としての責務を確実に果たすとともに、事業の徹底した効率化などによりコストを削減し、将来にわたる安定的な経営基盤を確立していくことが何よりもまして、重要な課題と思念しております。

山積する様々な課題を的確に対応するとともに、組合の各委員会よりの各種事業を円滑かつ着実に推進し、高松市の上下水道事業を更に発展させていく為には、我々組合員同士の「一致団結」した力強いご協力が不可欠でございますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様方にとりまして幸多い年となりますよう、心からご祈念申しあげまして、新年のご挨拶といたします。



平成23年 年頭の挨拶

新年明けましておめでとうございます。

平成23年の新春を迎えるに当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

日ごろ、高松市上下水道工事業協同組合の中川理事長様を始め、役員、そして組合員の皆様には、本市上水道の普及推進と維持管理に日夜尽力いただいておりますこと、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申しあげます。

さて、本市水道事業は、大正10年の給水開始以降、本年9月で通水90周年の記念すべき年を迎えることとなります。この間、貴組合の格別な御協力をいただく中、第1次から第8次の拡張事業を経て、99%を超える高普及率を達成し、今や市民生活や社会経済活動に欠くことのできない極めて重要なライフルラインとなつております。

しかしながら、水道事業におきましては、これまでの建設・拡張の時代から本格的な維持・更新時代を迎えており、今後、高度経済成長期に布設した管路や浄水場・配水池等の施設の大量更新、更には、近い将来の発生が想定される東南海・南海地震に対応した水道施設の耐震化等、安全で良質な水道水を安定的に供給する水道事業者としての使命を全うするために取り組むべき重要課題が山積しております。

また、本年4月には、上下水道事業が統合し、「上下水道局」が誕生いたします。この新たな組織では、給排水設備工事の申請窓口、水道料金・下水道使用料等に関する窓口の一元化など、お客様の利便性の向上、加えて、共通業務の一元化による人件費を始めとする経営コスト節減や、事故発生時・自然災害時等における迅速かつ効率的な復旧対応など危機管理体制の充実・強化にも努め、公共性と経済性を兼ね備えた公営企業として、お客様はもとより、貴組合員皆様からも、親しまれ信頼されるものにしてまいりたいと存じますので、一層の御理解と御協力をお願い申しあげます。

最後になりましたが、急激な円高を背景とした輸出の減少や長引くデフレ状況下にはございますが、追加景気対策としての本年度補正予算の成立を受け、景気が持ち直していくことが期待されており、この一年が高松市上下水道工事業協同組合員の皆様にとりまして実り大きい年となりますこと、また、高松市上下水道工事業協同組合の更なる御発展を御祈念申しあげまして、新年の挨拶とさせていただきます。

水道事業管理者 稲垣 基通



ごあいさつ

高松市上下水道工事業協同組合 顧問 三笠 輝彦



新年明けましておめでとうございます。

輝かしい希望に満ちた平成23年がスタートし、高

松市上下水道工事業協同組合の皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

日ごろから、皆様方には、本市の上下水道事業の普及促進に向けて、技術の向上や経営の改善などに積極的に取り組まれておりますこと、厚くお礼申しあげますとともに、深く敬意を表する次第でございます。

さて、本市では、本年4月の上下水道事業の組織

統合にあわせ、下水道事業への地方公営企業法の全部適用を行うこととなつており、統合に当たつては、類似する業務の窓口の一元化など、簡素で、市民にとつてわかりやすい組織に再編され、効率的な企

業性を發揮した市民サービスのさらなる向上が期待されるところであります。

一方、長引く景気の低迷により、業界を取り巻く環境も厳しい状況下にはございますが、住みよいまちづくりを実現する上で上下水道が果たす役割は大変重要であり、また、居住環境の向上を図るという重要な使命を果たすため、どうか組合員の皆様方におかれましては、一致団結し、水の安定供給を初め上下水道のさらなる普及促進と維持管理に、なお一層の御尽力を賜わりますようお願い申し上げます。

結びに、高松市上下水道工事業協同組合のますますの御発展と組合員皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、新春の御挨拶とさせていただきます。

新年の御挨拶

高松市水道局 水道整備課長 平山 弘康

新年明けましておめでとうございます。

平成23年の念頭に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

常日頃から、高松市上下水道工事業協同組合の中川理事長をはじめ、組合員の皆様方には、本市の上水道事業に対しまして御理解と御協力を賜るとともに、市民生活と都市基盤を支える最も重要なライフルラインである上下水道の整備や維持管理に日夜御尽力いただきしておりますことに対しまして、心から敬意を表しますとともに、感謝を申し上げます。

さて、今日の水道事業は住民生活に必要不可欠なライフルラインとして極めて重要な役割を担つておりますが、高度経済成長期に整備された水道施設の老朽化による大規模な施設の更新や、近い将来、

断水範囲の低減を図り、市民の生活を支える重要なライフルラインとしての役割を果たすように、努めていきたいと考えております。

水道施設の耐震化事業を推進するためには、高松市上下水道工事協同組合の皆様方の御理解と御協力が不可欠でございます。本年4月には、上水道事業と下水道事業の統合も控えており、これまで以上の御理解と御協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、高松市上下水道工事業協同組合のますますの御発展と、この1年が組合員の皆様にとりまして実り大きい年となることから、効率的かつ効果的な方法で計画的に水道施設の耐震化を進めるため、アセットマネジメント手法を活用した必要な投資経

新年のごあいさつ

高松市都市整備部下水道管理課長 三崎 文夫



平成23年の新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平素、中川理事長さんをはじめ、高松市上下水道工事業協同組合の皆様には、本市上下水道行政の推進に格別の御理解と御協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

本市の下水道事業につきましては、安全で快適な生活環境の確保、浸水の防除、更には河川や瀬戸内海などを保全し、健全な水環境を守るという大きな役割を担っておりますことから、これまで計画的かつ積極的に下水道の整備を推進してきており、下水道普及率も着実に向上し、平成21年度末には59・1%、接続率は90%となっております。

これもひとえに、日々、下水道工事に携わっておられます組合員皆様方の御尽力の賜物であると存じております。深く敬意と感謝の意を表する次第でございます。

ところで、本市の下水道事業は、本年4月に水道事業と同様に地方公営企業法の全部適用を行い、複式簿記を取り入れた企業会計方式を採用することに合わせ、組織としては、現在の下水道管

理課・下水道施設課・下水道建設課の3課を水道局に統合し、新たに上下水道局として、生まれ変わることいたしております。

このことから、上下水道の給排水設備工事の申請や、水道料金・下水道使用料等の窓口を一元化することにより、施工業者の皆様やお客さまサービスの向上を図ることができるとともに、総務・財務等共通する業務を一元化することで共通経費や人件費等の経営コストを節減し、お客様の負担軽減も図ることができると考えております。

このように、上下水道の組織統合は、更なるお客様サービスの向上や水行政の一体的推進、更には危機管理体制の充実・強化を図る上からも、一大転機と位置づけておりまして、今後とも、組合員の皆様のより一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、高松市上下水道工事業協同組合の益々の御発展と組合員皆様方の御健勝と御活躍を心より祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

代表取締役になつて

株式会社福田工業 福田 融人



気づけば38歳という年齢になつてしましました。自分が子供のころに見た38歳というのは、どこから見てもいわゆる「おっさん」であると断言できる。

実際、私も「おっさん」なのだが、最近感じるのは体年齢と精神年齢が一致していないとつくづく感じる。体力は20代に比べるとSKソネットのSKと掃除流しのSKぐらい違う。その割に精神年齢はすこぶる低いと思う。精神年齢が若いと言えば聞こえはいいが、的確にいうと幼い。「ボンジョビがベスト出してる！」買わな！」とか…。価値観が子供のまま今に至つての次第であります。

そんな私も代表取締役に就任し、諸先輩方にもまれてなんとかやつている状況です。至らない点ばかりで、四苦八苦しています。代表取締役になつてみて、親父が大きな存在であることに気が付きました。今まで何一つ親孝行らしき事はしていない自分ですが、恩返しじゃないけど親父の死に際に「親父！会社はまかせとけ！安心して死んでくれ！」このセリフを言える様になることが親孝行じゃないかと思っています。

幼くて若輩者ですので、今後ともご教授の程、よろしくおねがいいたします。

水で始まり、で終わる

大高工業有限会社 高木 新一



組合員各位殿、新年明けましておめでとうございます。

私も38年、水と関わる仕事を続けさせて頂きつくづく思う事ではありますが、水と人、特に『さぬき』には深い繋がりがあると。私達人間は産湯を使い最後にも水を使います。水で始まり、水で終わる不思議なものです。

香川県においては弘法大師が中国より伝来したうどんにも水が必要であり、讃岐平野を潤すため池もかかせない水です。

この様に切つても切れぬ関係の讃岐と水、人と水をしっかりと守つていかなければいけないと思う今日この頃です。

今年も皆様にとつて実りのある年になります様、心よりお祈りしております。



協力会員紹介

顧客ニーズの多様化に対応

前澤給装工業株式会社
四国営業所 主任 梶原 洋一



平素は組合員の皆様方に日頃格別のお引き立てを賜わりまして、厚く御礼申し上げます。

弊社は設立以来、給水装置の総合メーカーとして、サドル付分水栓、止水栓、継手等、製品の設計・製造・販売を行っております。また、近年は従来の埋設製品にとどまらず、屋内配管や床暖房に使用される製品の開発等、水に係わる事業を拡大しております。

さて、そんな中で高松市の状況と言えば水道直圧式のブースターポンプを用いた施工が一部認められたり、配水用ポリエチレンパイプの本格的な使用が始まり、新たな材料も増えてきたと思われます。P.S.内でのメータバイパスユニット、配水ポリエチレン管用のサドル付分水栓がそれにあたりますが、弊社では顧客ニーズの多様化に対応するとともに環境にも配慮した生産体制を確立し、厳しい品質管理の下、皆様にご満足いただける高品質な製品をお届けしてまいりたいと思いますので、今後とも皆様のよ

り一層のご支援ご鞭撻の程、宜しくお願ひいたします。

感謝の気持ちを持つ

株式会社エヌプラス
中山 智雄



落ち葉が風に舞う頃になりいよいよ冬も本番となってきた。高松市上下水道工事業協同組合の方々には、日ごろから格別のご高配にあざかり心から感謝しております。

当社も中山産業(株)と(株)マナックという共に歴史ある会社が合併し(株)エヌプラスが誕生して早や7年が経ちました。その後、若手社員も増えてその社員たちにも「今会社があるのは先人たちのおかげ」であることを知つていただきたい、そういう思いをこめて「社史」を今年の初めに編集しました。

エヌプラスは100年に及ぶ歴史のある会社であり、その100年の歴史を改めて振り返ることで次なる100年を見据えていきたいと考えています。稲が猛暑を問わず、どのようなところでも収穫できるようになる背景には、栽培方法の変革や品種改良など農家の方々の並々ならぬご苦労があつたと思います。会社も同様で、先人たちのご苦労やご尽力があつて初めて今なお存在することができていると思います。

現代社会はなにかと便利な世の中になりましたが、私達は十数年前に舗装されていない砂埃の舞う道を三輪バイクにまたがり、埃汗にまみれ、顔を真っ黒にして夜遅くまで配達先を廻る先人達の苦労を忘れてはいけません。また月末毎にペンドコのできた指で一枚一枚えんびつで請求書を書き続けた先人達の痛みを思い起こすことも大切です。

今後、会社を取り巻く環境はますます厳しくなると予測さますが、先人たちへの感謝の気持ちを忘れず頑張つてい

ウォーターケーラー

株式会社川西水道機器
柳瀬 真太郎

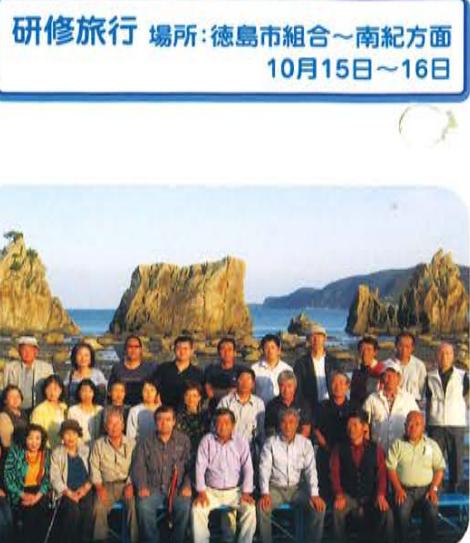


高松市上下水道工事業協同組合様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、水に関する話という事で一番に思い出されるのが、小さい頃に学校で飲んだウォーターケーラーの冷えた水です。先日、子供の授業参観に行った際に気が付いたのですが、最近の学校にはウォーターケーラーが無くなっています。子供に話を聞くと「ウォーターケーラー自体が何なのか分からぬ」との事。毎日水筒を持参し、喉が渴いた時にはそれを飲むという事が、習慣として定着しているようです。私が最初にウォーターケーラーに出会った時は幼稚園の頃だったでしょうか。ボタンを押すと冷たい水ができる魔法の箱と感激したような気がします。また、私は学生時代に陸上競技部に所属していたのですが、走った後に飲む水は格別なものでした。皆でウォーターケーラーに競つて集まり飲んだものです。安全面や経済面を考慮して今のスタイルになつたとの話を聞きましたが、少し寂しいような気がします。日本の上水道は安全な水を供給できるライフラインとして世界一だと思われます。私ども(株)川西水道機器は安全な水の供給に少しでも助力できるように今後とも精進してまいります。

当社は香川県の地元企業として昔から組合様と共に育ち、共に歩んで参りました。今後とも(株)川西水道機器をどうぞよろしくお願いいたします。

平成22年度給水装置工事配管技能講習会
全国標準…参加者36名 分岐穿孔のみ…参加者4名
11月13日(土)



ここ数年、世界的規模の経済情勢の混乱、異常気象や自然災害の頻発、極東アジアの緊張拡大や機密文書の漏えい等、今まで経験したことのない問題に日本国並びに政府は振り回されて参りました。これら全てが重要な問題であります。これまでの対応手法では解決できそうもなく、米、中国が中心となつて各国との調整が続いております。

さて、当青年部としましては、昨年度は四国サミットが高松で開催され、愛媛、高知、徳島の各青年部と全管連青年部の加藤会長をお迎えし、今回はうどんの排水処理について勉強しました。

我々、組合員は、きれいで安心して飲める水道水を安定供給しなければいけない責任がありますが、浄化されていない汚水や雑排水を河川には流してはいけない責任も当然ございます。

我々、青年部と致しましてもこのようないで仕事に従事しております。今回、うどんの排水処理の勉強会につきましては大変有意義なものになりました。

今後も安全で安心な水の安定供給が可能な組織体制づくりを努めて参り、下水道並びに宅内排水設備施工につきましてもより一層の技術力向上を目指して参ることをここにお約束させて頂きまして、年頭の挨拶とさせて頂きます。

高松市上下水道工事業協同組合 青年部 会長

三喜工事(株) 鈴木 雅登

新年あけましておめでとうございます。

親組合、高松市水道局並びに関係各位の皆様には、平素より当青年部に対しまして、格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

改めまして平成23年の年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。



平成23年新年のご挨拶

私は若い時から、何をするのも三日と続きません。今まで健康のためと歩かないけないと何回も思っていたところ、ひょんな事から近くに住む孫と一緒に朝、学校まで三十分位ですが、歩いていく様になりました。毎日が大好きな孫と会えて幸せです。毎日仕事に追われて孫と会う事が少なかつたので、よかつたと思います。

学校と一緒に歩いて行くとき、孫は水筒を持っていきます。もう少し小さいころはジュースばかりほしがついた子が、今は水が一番おいしいと話してくれます。子供は思つた事を素直に言うので見習いたいと思います。

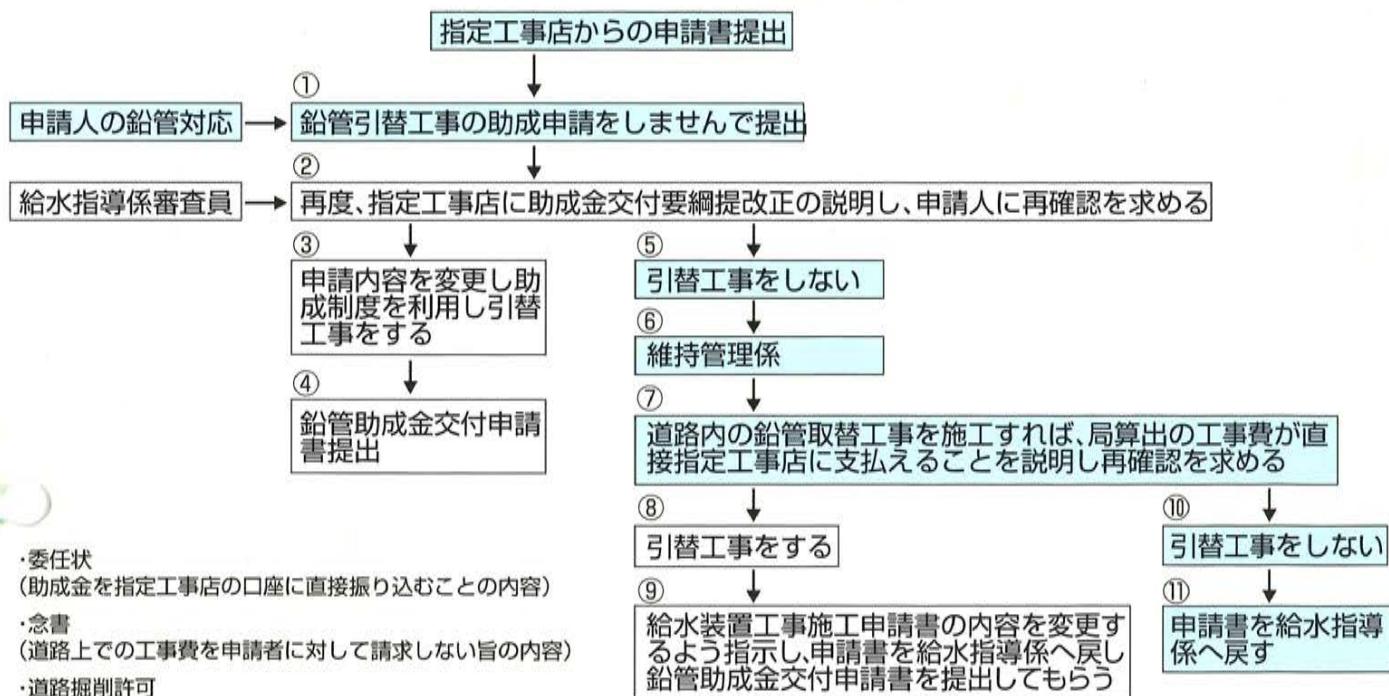
水の仕事にたずさわって、水の大切さ、ありがたさが今さらながら痛感します。

私は若い時から、何をするのも三日と続きません。今まで健康のためと歩かないけないと何回も思っていたところ、ひょんな事から近くに住む孫と一緒に朝、学校まで三十分位ですが、歩いていく様になりました。毎日が大好きな孫と会えて幸せです。毎日仕事に追われて孫と会う事が少なかつたので、よかつたと思います。

学校と一緒に歩いて行くとき、孫は



給水装置工事施工申請書提出からの鉛管対策対応



平成22年度高松市上下水道事業協同組合・会議

第三回理事会

開催日時/平成22年8月25日(水)
13時30分～
開催場所/組合事務所 2階会議室
出席役員/12名
議案/(1)平成22年度給水装置工事
配管技能者講習会について
(2)報告事項・委員会報告・その他

第四回理事会

開催日時/平成22年9月21日(火)
11時30分～
開催場所/組合事務所 2階会議室
出席役員/15名
議案/(1)平成22年度下半期の
事業運営等について
(2)報告事項・委員会報告・その他

第五回理事会

開催日時/平成22年11月5日(金)
11時30分～
開催場所/組合事務所 2階会議室
出席役員/14名
議案/(1)平成22年度配管技能者
講習会について
(2)報告事項・委員会報告・その他